

令和3年度 大阪府立河南高等学校 第1回「学校運営協議会」 報告

日 時 令和3年7月

方 法 新型コロナウイルス感染症の影響により、集合による会議は実施せず、7月に書面による会議（内容確認・意見集約）を行い、7月30日（金）委員長に確認いただいた。

委 員 吉川 測雄（大阪ファッションアート専門学校）：委員長 ※敬称略
島 善信（前 大阪教育大学特任教授）
加藤 靖（富田林市立第二中学校校長）
岡澤 潤次（前 関西外国語大学教授）
恵島 明（株式会社「えじま」会長）
後田 有里（PTA）

事務局 校長、教頭、事務長、首席、他各分掌長・学年主任

議 事 (1) 令和3年度 学校経営計画について

- ・「強さ」と「優しさ」をめざす学校像に掲げられているのは、素晴らしいことだと思います。安住するのではなく、チャレンジ精神を持って生徒たちが育成されていくことを期待しております。
- ・冒頭“強い河南”が大変印象的で、文武両道を実感する。学校行事や部活動等校内外の教育活動全般に主体的に取り組む生徒を育成する学校の姿勢が伝わってくる。生徒一人ひとりには実にも静かであり、落ち着く一方、部活動や進路の結果が府立高校として素晴らしい。具体的には進路先の数値目標を立ててそのための実践を実行している。また、安全で安心な学校生活のための生徒支援に抜かりがない。提案型教員集団のもと学校力の向上をめざし尽力されている。校長のリーダーシップが反映されているし、教職員がそのもとで全力を傾けていることがあらゆる分野で発揮されている。

(2) 現状報告

①自治会活動と部活動等について

- ・クラブの加入率が若干下がっているのはコロナ禍の影響だと思います。今後も加入率が90%台を維持されることを期待しております。
- ・自治会活動については、学校運営協議会に必ず自治会執行部の生徒を出席させて報告する機会を作っている。生徒は教職員の指導宜しく折り目正しくはきはきと発言し、本協議委員の質問等にも要領よく対応している。

②入学者の状況等について

- ・南河内地区の生徒が減っていますが、同地区の生徒は学級減のため河南高校の入試が厳しくなると考え減少したものである。（南河内の中学生は河南高校を良く知っている）

③卒業生の進路状況等

- ・後まであきらめず、頑張れる雰囲気があるので、3月入試まで頑張ったものと思われる。
今後もこのように粘り強く目標に向かって邁進して欲しい。

④令和4年度使用教科書採択について

- ・特に問題はありません。

⑤その他

◇授業力向上PTについて

- ・生徒対象のアンケートで「授業のわかりやすさ」や「授業の工夫」について、生徒からの評価が上昇している。授業向上のPTの効果があらわれていると思います。

◇広報委員会について

- ・コロナ禍の中、さまざまな工夫をされて、学校説明会やクラブ体験を実施されています。中学生の「入って良かった学校」になるための第一歩だと考えています。

◇その他全体を通して

- ・委員の皆様や先生方とお会いして学校運営協議会が実施できないのは残念です。コロナ禍の中、着実に「強い河南」をめざし、先生方が一丸となって努力されている様子、頼もしく思っております。
- ・資料を熟読させていただきました。常日頃より、教育目標を念頭に丁寧な教育活動をされていることがよくわかりました。コロナ禍の中で、本当にご苦労されているかと思いますが、何よりも先生方の心労が心配です。先生方の元気があるのが学校です。これかも河南高生の為に、ご尽力いただけますよう、よろしくお願い致します。